

様式第5号

出張調査報告書

平成28年7月29日

松伏町議会議長 佐藤永子様

会派名 無所属クラブ

代表者 福井 和義



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成28年7月5日から平成28年7月5日まで
2 視察地	栃木県矢板市
3 視察目的	小規模特認校制度の先進事例
4 視察者氏名	福井 和義
5 視察結果	行程・視察結果は別紙のとおり

なお、今回は新自民クラブとの合同視察として実施した。

平成28年7月29日

松伏町議会議長 佐藤永子様

無所属クラブ
代表 福井和義

出張調査報告書

当会派で先進地の行政視察を行いましたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査年月日
平成28年7月5日（火）
- 2 視察地及び視察目的
栃木県矢板市 小規模特認校制度の先進事例
- 3 視察者氏名
福井和義

4 視察内容

(1) 小規模特認校制度の導入時の教訓

平成14年に小規模特認校を導入した長井小学校、上伊佐野小学校、日新小学校は、平成21年3月31日に統廃合されている。これら3校で小規模特認校がうまくいかなかった原因は、保護者への周知が足りなくて、生徒が集まらなかったためである。

初期の教訓から小規模特認校を実施するために取り組んだことは、学校の教育方針や学校の様子を、いろいろな場で紹介して小規模特認校制度の理解を求めたことである。

(2) 小規模特認校制度を導入後

矢板市では、小規模特認校に通学している児童・生徒は放課後や休日の友人関係に問題は発生していない。

特認校で学んだ児童・生徒とそうではない児童・生徒では、卒業後にどのように人間形成に違いが生じるのか、追跡調査は行っていない。

5 結果

小規模特認校である矢板市立西小学校は、高台にあり、校庭には小川も流れ、自然環境は抜群である。しかし、学区外から通学している児童数は少ない。

保護者は、通学する学校を決めるとき、自然環境には関心が薄いと思われる。

金杉小学校で小規模特認校制度を成功させるには、英語活動を学校の特色として、経営することが効果的であると考えた。

栃木県矢板市 視察 行程表

7月5日(火)	
07:30	松伏町 発 (福井議員自家用車使用)
	松伏町＝東北自動車道＝矢板市役所
10:00	小規模特認校制度の調査
11:30	矢板市立西小学校視察
13:30	矢板市出発
16:20	松伏町 着